

性別にとらわれない保育を！ LGBTQ 保育士がプロデュースする保育用品 「ジェンダーニュートラル・個人マークシール」 保育園に無料提供

保育園で男女分けが当たり前となってきた「個人マークシール」を、
SDGs世代の多様な子どもたちにマッチするデザインに刷新

次世代の保育用品を保育園へ届けたい！



ジェンダーニュートラル
個人マークシール 商品開発！

多様性を考える保育士研究会「にじいろ保育の会」
(代表：天野諭) は、SDGs時代を担う多様な子ども
たちにマッチした保育用品の開発に取り組んでいます。

既存の保育用品「個人マークシール」は、女子には
ウサギ・リボン・ケーキ、男子にはライオン・消防車・
カブトムシなど、無意識的に男女分けしてしまう傾向
がありました。商品開発第1弾は、「ジェンダーニュート
ラル(中立的)・個人マークシール」を製作、認可
保育園を中心に無料提供するプロジェクトです。
株式会社CAMPFIRE運営のクラウドファンディング
サイト「GoodMorning」にて、
2022年2月1日(火) 午前10時に公開いたします。

■プロジェクト概要

プロジェクト名：性別にとらわれない保育を！

保育用品「ジェンダーニュートラル・個人マークシール」

期間：2022年2月1日(火)～3月14日(月)

URL：<https://camp-fire.jp/projects/view/522850>

公開前(限定公開 URL)：

<https://camp-fire.jp/projects/522850/preview?token=8bx8h2rk>

目標金額：200,000円

2月1日(火)
公開！



商品内容

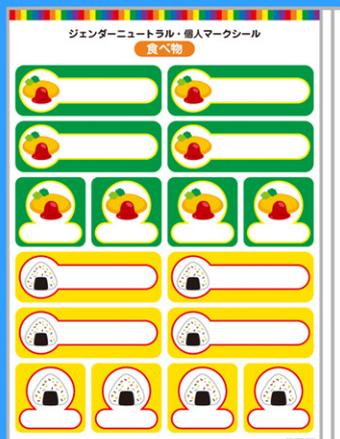
シールセット

60マークを3枚ずつ。
使いやすい個別シールタイプ！



名前欄付きシート(原本)

カラーコピーして
繰り返しご使用いただけます。



*完成品とデザインが異なる場合があります ©NIJIROHOIKU

■リターン例

・C：2,500円

保育園1園に商品1セット無料提供
or 支援者様に商品1セット

・D：5,000円 [限定30口]

保育園5園に商品1セットずつ無料提供
+ 支援者様に商品1セット

・E：10,000円

保育園10園に商品1セットずつ無料提供
+ 支援者様に商品1セット

■保育園への無料提供

プロジェクトの商品「ジェンダーニュートラル・
個人マークシール」は、支援獲得件数に応じて
認可保育園を中心に無料提供していきます。
保育園からのフィードバックをもとにブラッ
シュアップしていく計画です。

■プロジェクト詳細



「個人マークシール」とは

保育園において、子どもが自分のスペースや持ち物を認識するためのイラストシールです。まだ文字の読めない子どもにとって、この「個人マークシール」はとても身近で大切な自身の“アイコン”になります。「個人マークシール」は帽子入れ（画像）やロッカー、下駄箱に貼られます。

これまでの「個人マークシール」

保育用品商材を扱う企業が販売している「個人マークシール」は、とても可愛いデザインですが問題も見受けられます。「個人マークシール」は性別を頼りに割り振られることが多く、無意識的に男女の固定イメージ（ジェンダーバイアス）を子どもに与えてしまう側面があるのです。ただ、既存の「個人マークシール」はデザイン数が限られており、また、そのデザインの見直しもされてこなかったため、数十年同じ商品を使い続けている保育園も少なくありません。こうした視点から考えると、既存の「個人マークシール」は、保育の“当たり前”になりすぎてしまい、問題視されることがありませんでした。



本プロジェクトの商品

「ジェンダーニュートラル・個人マークシール」

本プロジェクトの商品「ジェンダーニュートラル・個人マークシール」は、ジェンダーバイアスを含むデザインを取り除き、かつ、ジェンダーニュートラルなデザインのみで構成。誰がどの「個人マークシール」を使用しても、一定レベルのジェンダーニュートラルが実現できる商品です。LGBTQ当事者視点と保育士視点を織り込むことで、より保育現場に即した精度の高い商品を目指します。



■本プロジェクトへの想い

SDGs時代を担う多様な子どもたちを保育する私たち大人も、最新のジェンダー観にアップデートする必要があります。「女らしく」「男らしく」育てたいという保護者の方の想いは否定せず大切にしながらも、保育園においては、どのような子育て観も、多様な子どもたちの個性やその背景（性別・LGBTQ・障がい・国籍・民族など）も、ひっくり返って受け入れられる環境でありたいと願います。性別にとらわれない保育とは、LGBTQの子どもたちのためだけではありません。いわゆる「普通の子・男子」と思われる子どもたちにとっても、その個性を自由に遺憾なく発揮できる環境を保障することに繋がるのではないのでしょうか。そのためには、保育現場においてジェンダーの議論を喚起していく必要があります。その先駆けとしてジェンダーニュートラル(中立的)な保育用品を提供していく、このプロジェクトを立ち上げました。志高い皆様のご支援を必要としています。何卒ご支援をよろしくお願いいたします。



問い合わせ先：にじいろ保育の会（代表：天野 諭）

Twitter twitter.com/nijirohoiku
Instagram instagram.com/nijirohoiku

